2026 No.317

ぱれっと 1

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター（サポセン）にいろいろな人が集まり、それぞれの色（個性）が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。

鶴巻とみさい館に建てた仙台門松の前で団体の仲間たちと

市民活動団体を紹介「市民活動突撃レポート！」

仙台門松の文化を広め、地域の伝統を思う心を育みたい

仙台藩の人々に大事にされていた伝統的な門松

正月に門や玄関に飾られる門松は、斜めに切られた3本の竹の周りに松や装飾がつけられているものが一般的です。一方で、江戸時代に仙台城下に飾られていた仙台門松は、栗の木を用いた支柱に松や笹竹などをくくりつけ、その支柱の間にしめ縄を渡して結んだ、鳥居のような形をしています。実際に人が通れるほどの高さがあるのが特徴です。明治時代以降、伝統的な仙台門松は徐々に減少しましたが、近年、泉区根白石で仙台門松に関する資料が発見されたことをきっかけに、仙台市内で仙台門松の復元活動が盛んになっています。

仙台門松を通して伝えたい思い

仙台門松・みやぎの発信隊は、仙台門松をより多くの人に伝えるため、会長の阿部次男（あべつぎお）さんと事務局長の齋藤典子（さいとうのりこ）さんを中心に、2023年1月から活動を始めました。活動拠点は、宮城野区にある住民の交流の場、「鶴巻とみさい館」です。齋藤さんは、「仙台の伝統文化が薄れていくことが寂しい」と、仙台門松を学ぶ市民向けの講座やミニ門松を作る教室を開催。毎年12月には、高さ3mにもなる仙台門松を実際に建て、多くの人に仙台門松を発信しています。

材料の調達や組み立てに苦労しながら団体が思いを馳せるのは、技術の伝承から材料となる木々を育てる山の手入れに至るまで、新年を迎えるために労を惜しまず、家族の長寿や繁栄を願った仙台藩の人々の暮らしです。齋藤さんは、「仙台門松を通じて、伝統やその時代を生きた人が大切にしていた考え方に触れてほしい」と、思いを込めます。

参考文献：市史せんだい vol.20 pp.98-114

仙台門松・みやぎの発信隊

TEL 080-5558-4649

仙台門松を見に行こう!

場　　所：①鶴巻とみさい館（仙台市宮城野区鶴巻1-22-73）
　　②田子西三丁目集会所
　　（仙台市宮城野区田子西3丁目9－12）
展示期間：①2025年12月13日（土）～2月3日（火）まで
　　②2025年12月20日（土）～1月13日（火）まで

市民活動団体を紹介「市民活動突撃レポート！」

野鳥が暮らす自然環境を守りたい

「池の向こうの木陰にオシドリがいるよ!」。日本野鳥の会宮城県支部が年間50回ほど開催する探鳥会では、参加者が双眼鏡やスコープで見つけた鳥を楽しく教え合います。11月8日に実施した探鳥会の会場は、仙台市泉区の水の森公園でした。市中心部から車で約20分の場所に位置します。副支部長の小林秀樹（こばやしひでき）さんは「身近な場所にたくさんの種類の野鳥が暮らしていると市民に知ってもらうことが、自然を守る気持ちを育む一歩になる」と話します。探鳥会の最後には、見つけた鳥を参加者で共有する「鳥合わせ」を行います。公園の遊歩道と近隣を流れる高柳川の河川敷を2時間歩き、参加者全員で37種類の鳥を見つけることができました。探鳥会で大切にしているのは、ありのままの自然の中で野鳥の姿や鳴き声を「のぞかせてもらう」スタンスです。野鳥を育む自然を尊重することを最優先に考えています。市内でツキノワグマの目撃情報が相次いだ際も、ラジオを大きく鳴らしたり、大きな声を出したりせず、時間や探索コースを変更することで参加者の安全を確保しました。参加者からは「探鳥会で自然の中で暮らす野鳥の美しい姿を見て、人間の都合で自然を壊してはいけないと考えるようになった」と人間と自然の共生を願う声もありました。自然への優しいまなざしが、宮城の豊かな自然を次世代に受け継ぐことにつながっていきます。

▲11月8日の探鳥会は若者から高齢者まで28人が参加しました。

日本野鳥の会 宮城県支部

Facebook▶

活動を始める一歩を応援「コトハジメ」

みんなでつながる福祉用具コミュニティ

「Hello! Party（はろーぱーてぃー）」は、車椅子やバギーなど福祉用具を使う子どもやその家族、福祉の仕事に関わる人など誰でも入会できる会員制コミュニティです。入会は無料。現在の会員数は約700人です。NPO法人ハローが運営しています。

障がいや疾患による個々の状況や、同じ境遇の人の少なさから、福祉用具を使う人が気軽に情報交換できる場は多くありません。また、福祉用具を使う人の状況を、当事者以外が知る機会は限られています。入会すると会報誌を通して、福祉用具を使う人の生活の工夫を知ることができたり、イベントを通じて新しい人・モノとの出会いや発見を得たりすることができます。福祉用具を使用する生活がより楽しいものになる環境づくりに参加しませんか?

NPO法人ハロー

（協力：株式会社ジェー・シー・アイグループ）

HP▶

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。
「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 1月14日（水）、28日（水）

開館時間	月曜日～土曜日 9:00-22:00 日曜日・祝日 9:00-18:00
休館日	毎月第2・第4水曜日（祝日の場合は翌日木曜日）年末年始

〒980-0811　仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL 022-212-3010　FAX 022-268-4042
[ホームページ]https://sapo-sen.jp
[サポセンブログ@仙台]https://blog.canpan.info/fukkou/

「ぱれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。▶▶▶

ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行
仙台市市民活動サポートセンター
（指定管理者：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター）
発行日　2026年1月4日
デザイン　PEACE Inc.

[X] @SCSC4CA

[YouTube] サポセンちゃんねる